

議会報告会報告書

委員会	議会改革推進特別委員会
参加議員	議員18名
日 程	令和6年2月14日午後6時から7時45分
テーマ	議会報告会
会場	松井田文化会館
参加人数	市民23名
説明内容	<p>各常任委員会委員長より付託議案の審査についての報告 即決議案の説明を議長より報告 各常任委員会委員長より行政視察の報告 議会改革推進特別委員会委員長より 議会改革の全般的な取り組みの説明 特別委員会行政視察の実施報告 高校生との意見交換会の実施報告 公共交通対策特別委員会委員長より 設置目的の説明及び行政視察の実施報告 意見交換</p>
主な質疑	<p>議員職員等の報酬改定について 視察先の場所の選定は事務局が行うのか議員の意向か 松井田駅近くに住宅を作り人口増加させるための開発を考えてもらいたい 上下水道包括民営化の視察の成果とそれを安中市で取り入れた場合どれくらいの経費削減になるのか 議員定数に対して少数精鋭にすべき 多胡事件に対して群銀に債務放棄をしてもらうよう市長に働きかけをもらいたい 市長と対抗する抵抗勢力となるべき 碓氷川が氾濫した際の避難所の確保等について議会は防災対策について市に対してしっかり意見をいってるのか 原市区長会から出された郷原地区の道の駅の件だが今後産業団地として考えているとのことだが請願の重みを考えればマスタープランの策定において住民の意向を確認しなければならぬのではないか 手話言語条例が制定されているが避難所での手話を導入してもらいたい</p>
反省、課題	<p>常任委員長の議決結果の報告で、議案の内容を簡単に説明することになっていたが、議会での委員長報告的なもので市民からは分かりづらい等のお意見が出た。 委員長が分かりやすい報告ができるように部会としても協力していく。 市民との意見交換会の中で答弁者の議員が会派としての考えや個人的な見解で答弁しているケースがあったが議会全体としての答弁をするべきであるとの意見が出</p>

	<p>た。</p> <p>コロナ禍で実施が見送られていた議員の任意参加による手話研修について実施に向けて検討していくことになった。</p> <p>議会として答えられない内容については司会者がその件については執行部でないのでお答えは出来ませんと言うべきとの意見が出た。</p> <p>テーマを決めて意見交換をしてみてもいいのではないかとの意見が出た。</p>
参加議員	原田大、宇佐美誠、池島利明、長嶋陽子、武者葉子、金井登美雄、小林克行、巽久男、曇次雄、松本次男、小川剛、小林訂史、佐藤貴雄、今井敏博、吉岡完司、柳沢吉保、柳沢浩之、高橋由信